

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/12/16

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	35.06	0.55
JPY/THB	0.2545	-0.0002
USD/JPY	137.78	2.30
EUR/THB	37.26	0.39
EUR/USD	1.0628	-0.0054
USD/CNH	6.991	0.048
SGD/THB	25.77	0.14
AUD/THB	23.50	-0.19
USD/INR	82.75	0.31
USD Index	104.56	0.79

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.942	-0.023
10Y (THB)	2.539	0.019
5Y (USD)	3.618	0.005
10Y (USD)	3.446	-0.031

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,777.2	-30.3
WTI (Oil)	76.11	-1.17
Copper	8,293.5	-223.0

Stock

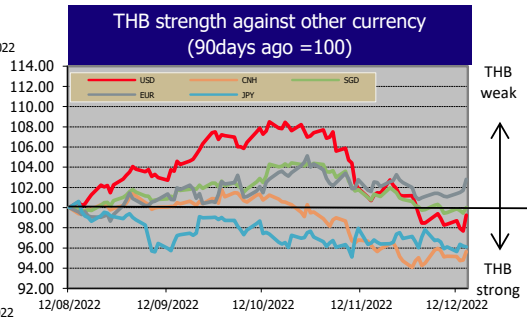
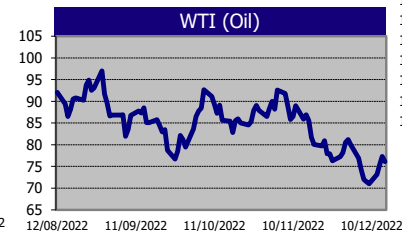
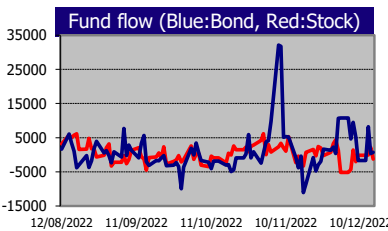
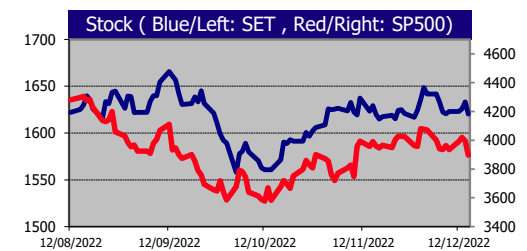
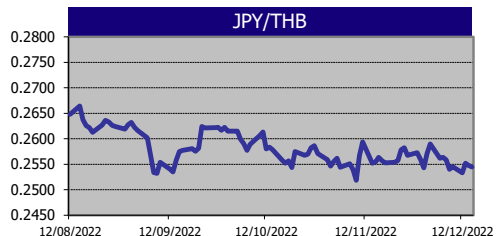
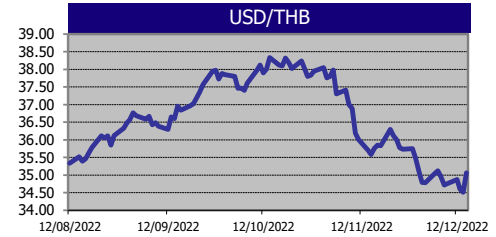
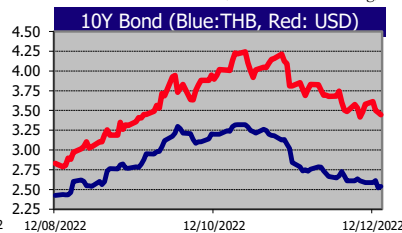
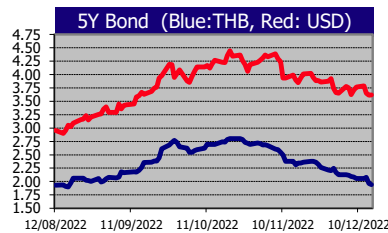
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,620.28	-13.08
NIKKEI (JP)	28,051.70	-104.51
DOW (US)	33,202.22	-764.13
S&P500 (US)	3,895.75	-99.57
SHCOMP (CN)	3,168.65	-7.88
DAX(GER)	13,986.23	-473.97

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(1,268)	-3444.6
Bond net flow	713	366.6

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは上昇した。34パーツ台半は付近からスタートしたドルパーツは、FOMCにて来年の利上げ継続が示された中、序盤から上昇基調に。バンコク時間9時に発表された中国経済指標が予想を下回ったことから人民元が軟調な推移を見せたこともドルパーツの上昇に拍車をかける格好となり、バンコク時間のドルパーツは終始底堅く推移する展開に。海外時間に入り、米11月小売売上高が市場予想を下回る結果となると、景気後退リスクが意識され、リスクオフからドル買いが先行。ドルパーツは35パーツ台前半まで上昇し、そのまま35.06レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・昨日のドル円は上昇。135円台半は付近でスタートしたドル円は序盤、実需の売買が交錯するも、FOMCの結果が意識される中、底堅く推移。海外時間ではECB、BOE、SNB等の欧州中銀がそろって利上げを発表。特にECBに関してはタカ派トーンが強い結果となり、日本の金融政策との格差が意識され、ユーロをはじめ欧州通貨買いが先行。クロス円の上昇がドル円にも波及する格好となり、ドル円は上昇幅を拡大させた。また、米経済指標の軟調な結果を受けた米株の下落もドル円相場をサポート。一時138円台に乗せる場面も見られた。ただ、終盤にかけては上昇も一服。結局137.78レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

ECB理事会が事前予想通り50bp利上げを決定した。過去2会合では75bpずつ引き上げていたが、FRBと同様に利上げペースを減速させた。声明文では、今後も大幅に利上げを継続する姿勢を示した他、向こう2年のインフレ見通しを前回から上方修正する等タカ派の強い内容となった。また、ラガルドECB総裁は記者会見で、「50bpの利上げペースが一定期間続くことを見込むべきだ」との発言でタカ派姿勢を強調した。また、同日、英中銀も政策金利の50bp利上げを決定（9会合連続の利上げ）、主要欧米中銀の足並みが揃う格好となった。各中銀の相次ぐ利上げや経済指標の悪化（11月米小売売上高の約1年ぶり大幅減少（前月比▲0.6%、予想▲0.2%）で改めて世界経済減速への懸念が再燃している。投資家のリスクセンチメントは悪化し、年末も意識されることから、リスク回避のドル買いが更に強まる可能性もあり警戒する必要がある（前川）。